

① 田部眞樹子さん「チャイルドラインとは」

講座内容

チャイルドラインは、指示しない・指導しない・傾聴する電話です。子どもの気持ちを聴くことは、子どものありのままを受けとめること。子ども自らの力をエンパワメントし、解決できるように寄り添う「子ども主体」の子ども支援について一緒に考えましょう。

講師紹介

NPO法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク代表理事
(特)三重県子どもNPOサポートセンター理事長
973年に市民活動に関わってから47年。子ども達が安全で安心して健やかに、全人的に育つ地域社会づくりを目的としてNPO活動を行っている。チャイルドライン、子どもの権利条約づくり、里親支援事業など行政との協働事業を行い、県内8地域の団体正会員とともに多面的に子どもの育ちを支えている。長年のNPO活動が認められ、2007年に地方自治施行60周年記念地方自治功労賞を、2010年に県民功労賞を受賞。

③ 市川岳仁さん「依存症からの回復とエンパワメント」

講座内容

依存から回復した自らの経験や、その背景についてお話しいただきます。ありのままの自分を認め合える仲間との繋がりや、支援者として当事者に寄り添いながら、制度や施策にも携わっておられる活動について学びます。

講師紹介

特定非営利活動法人三重ダルク常務理事。
「三重ダルク」を主宰する傍ら、ネパールでアディクトのためのソーシャルビジネスカフェを設立、運営に携わる。当事者性(経験)と専門性(科学)の往還を目指し、現在、立命館大学大学院博士課程に在籍。共著「ダルクー 回復する依存者たち」(明石書店)
精神保健福祉士

⑤ 須永祐慈さん「いじめと不登校」

講座内容

いじめの現場や学校を休んでいる時、子どもは何を感じ、どう思っているのか、当事者として感じていたことを話していただきます。今、子どもたちの中で何が起きているのか、どのような関係性なのか、様々な調査から見える子どもの姿を学びます

⑥ 須永祐慈「子どもからみたネットメディア」

講座内容

スマホやタブレット、ゲーム機が生まれた時から身の回りにあり、当たり前に使っている子どもたちにとって、その影響は計り知れません。身体的、人間関係において、ネットメディアにより子どもたちに何が起きているのか、一緒に学びましょう。

講師紹介

NPO法人ストップいじめ！ナビ 副代表理事
ブラック校則をなくそう！プロジェクト発起人。自身も小学校4年生からいじめを理由に不登校。東京シューレで育ちシューレ大学で学ぶ。フリースクール、チャイルドライン等との関わりも長い。いじめの実態調査、情報共有のほか、自身の体験をもとに全国各地の学校や行政、市民団体などで講演活動やメディアでの発信などを行う。

⑧ 浜田進士さん「子どもにはチカラがある ～子どものエンパワメントを支えるおとなの役割～」

講座内容

子どもにはチカラがあります。このチカラを発揮させるには、何が必要なのでしょうか。子どもが必要としているものは、その子に聞いてみないとわかりません。子どもの権利が保障される社会になるために、大人の役割とは？

講師紹介

子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長
子どもの権利条約 関西ネットワーク共同代表、自立支援ホームあらんの家ホーム長。「子どもの権利」をテーマに、日本ユニセフ協会や国際子ども権利センター等、子ども関係の団体で約16年間勤める。途中、南アジアのバングラデシュでストリートチルドレン(路上で暮らす子ども)の支援に携わる。元関西学院大学教育学部准教授(専門は子どもの権利擁護・子ども支援論)。宝塚市子どもの権利サポート委員会(子どもの権利オンブズパーソン)で、いじめなどの子どもの権利相談や関西学院大学非常勤講師も務める。

⑨ 竹内未希代さん「私を引き受ける-「I'm ok」

講座内容

性は命の根源、生きることそのものです。性だけを切り取るのではなく、自己を確立する土台として権利の視点から話していただきます。自分の性を認め「私は私でいい」と思えることで「あなたはあなたでいい」と思えるのではないのでしょうか。

講師紹介

「性と自尊感情」教育研究会 代表
私立高校で教科「人間関係と性」を30年間担当。非行・問題行動を繰り返す生徒たちと関わる中で、彼らが「生命・生きる」「性」「親(他者)との関係性」のいずれかに否定観を持っていることに気づき、自尊感情への働きかけ・性の科学的な理解・ソーシャルスキルを柱として『十代の発達支援としての性教育』を実践。現在は年間数十校で「十代が自分の大切さに出会う性教育講話」やデートDV予防研修を行っている。

② 金丸恵子さん

「子どもたちに性の問題を正しく伝えるために」

講座内容

インターネットなどからの「性」についての間違った歪んだ情報が、子どもたちの手本になってしまっています。性器、妊娠、避妊、性感染症などについて正しい知識を得ることで、自分も他人も大切にできるのではないのでしょうか。

講師紹介

金丸産婦人科院長
三重大学医学部卒。大学病院で研修後、国立津病院と鈴鹿回生病院に勤務し、平成8年1月に開業。
10代の月経異常や性トラブルの相談、不妊の初期治療に力を入れている。日々の診療の他、木曜日午後は近隣の中学・高校で性教育講話を実施。平成22年より教育・行政・警察・NPOとの横のつながりを深める活動として「思春期保健指導セミナー」を三重県より三重県産婦人科医会が受託、担当理事としてファシリテートしている。

④ 喜多明人さん「子ども支援のまちを創ろう ーチャイルドライン活動に子どもの権利条約を活かす」

講座内容

自己肯定感が低いと言われる日本の子どもの実態を、教育をめぐる様々な問題など多角的に話していただきます。子どもの権利条約を基に、子どもの権利、子ども支援のまちづくりについて学びます。

講師紹介

早稲田大学名誉教授、子どもの権利条約ネットワーク代表
2020年早稲田大学文学学術院教授を退任、同大学名誉教授に就任。日本子どもNPOセンター理事。チャイルドライン支援センターアドバイザー、学校安全全国ネットワーク代表、多様な学び保障法を実現する会共同代表。その他、子どもの権利条約に関する様々な委員、アドバイザーを歴任。地元東京・目黒ではチャイルドライン東京ネットワーク代表、めぐろチャイルドライン代表などを務める。

⑦ 飯田順三さん「思春期外来の現場から」

講座内容

思春期外来の現場から見える今の子どもたちについてお話しいただきます。子どもの発達にそって学び、そのことが思春期にどう影響するか、また発達障害や精神疾患について事例を基に、詳しくお話しいただきます。

講師紹介

奈良県立医科大学医学部看護学科人間発達学 教授
医学博士、精神保健指定医、精神専門医・指導医、日本児童青年精神医学会認定医・常任理事。著書は「詳解 子どもと思春期の精神医学」「発達障害」「改訂版 注意欠陥多動性障害—ADHD—の診断・治療ガイドライン」「自閉症ガイドブックシリーズ3 思春期編」「心の気がかり相談室 思春期編」など多数。この夏出版された「ADHD クロストーク」では3人の臨床家が温かな言葉で「ADHD 臨床」について語っています。